

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：村山 一弥

事業の概要

|  |                             |      |        |      |                  |
|--|-----------------------------|------|--------|------|------------------|
| 事業名  | 一般国道3号 岡垣バイパス               | 事業区分 | 一般国道   | 事業主体 | 国土交通省<br>九州地方整備局 |
| 起終点  | 自：福岡県遠賀郡岡垣町山田<br>至：福岡県宗像市武丸 | 延長   | 4.0 km |      |                  |
| <p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道3号は北九州市と福岡市を結び、遠賀町、岡垣町、宗像市などの周辺都市を連絡する幹線道路である。このうち、岡垣バイパスは、前後4車線区間に挟まれた2車線区間（延長4.0km）の4車線化事業である。</p> <p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>当該事業の整備により、交通ボトルネックが解消し信頼性の高いネットワークが構築されることで物流等の地域活動を支援するとともに、対面通行区間や絞り込み区間の解消に伴う交通事故の減少により、道路利用者の安全・安心を確保。</p> <p>全体事業費 約50億円      計画交通量 約43,300台/日</p> <p><b>事業概要図</b></p> |                             |      |        |      |                  |

**関係する地方公共団体等の意見**

【福岡県知事】  
一般国道3号は、北九州都市圏と福岡都市圏を結び、北部九州地域の人流・物流を支える重要な幹線道路です。しかしながら当該区間は、北九州・福岡間で唯一2車線のまま残されており、ボトルネックによる交通混雑や交通事故による立ち往生など、安全で円滑な交通に支障を来していることから、これまで、県議会とともに、政府に対し当該区間の4車線化を要望してきたところです。  
福岡県としましては、周辺自治体と連携しトンネル工事により発生する土砂処分についてご協力するとともに、県道岡垣宗像線、原海老津線の整備など、アクセス道路の強化を図ってまいりたいと考えております。  
つきましては、平成30年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**

・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**

・費用対便益：便益が費用を上回っている  
・手続きの完了：都市計画決定手続き完了（S49.12）

事業評価結果

|        |             |  |                                       |  |           |
|--------|-------------|--|---------------------------------------|--|-----------|
| 費用便益分析 | B/C         | 2.2  | 総費用 49億円<br>（事業費：39億円<br>維持管理費：9.3億円） | 総便益 109億円<br>（走行時間短縮便益：83億円<br>走行経費減少便益：16億円<br>交通事故減少便益：9.0億円）                | 基準年 平成29年 |
|        | 感度分析の結果     | 交通量変動  | B/C=2.0（交通量 -10%）                     | B/C=2.5（交通量 +10%）  |           |
|        |             | 事業費変動  | B/C=2.1（事業費変動 +10%）                   | B/C=2.4（事業費変動 -10%）  |           |
|        | 事業期間変動      | B/C=2.1（事業期間変動 +20%）   | B/C=2.3（事業期間変動 -20%）                  |  |           |
| 事業の影響  | 自動車や歩行者への影響 | 評価項目   | 評価                                    | 根拠   |           |
|        |             | 渋滞対策   | ◎                                     | ・交通ボトルネックの解消により旅行速度が向上<br>〔九州自動車道通行止め時における対象区間の旅行速度〕<br>現況 17km/h → 整備後 46km/h |           |
|        |             | 事故対策   | ◎                                     | ・対面通行区間等の解消により交通事故が減少<br>〔死傷事故率〕<br>現況 77件/億台キロ → 整備後 63件/億台キロ（約2割削減）          |           |
|        | 歩行空間        | -  | ・注目すべき影響はない。                          |  |           |
|        | 社会全体への影響    | 住民生活   | -                                     | ・注目すべき影響はない。   |           |
|        |             | 地域経済   | ○                                     | ・交通ボトルネック解消により、物流等の地域活動を支援。  |           |
|        |             | 災害   | -                                     | ・注目すべき影響はない。   |           |
| 環境     |             | -  | ・注目すべき影響はない。                          |  |           |
| 地域社会   | -           | ・注目すべき影響はない。   |                                       |  |           |
| 事業実施環境 | ○           | ・都市計画決定手続き完了（S49.12）<br>・岡垣町長及び関連2市・2町長等より「一般国道3号（岡垣バイパス）4車線化の早期事業化」について要望 |                                       |  |           |

採択の理由

費用便益比が2.2と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、4車線化により、交通ボトルネックの解消により、信頼性の高いネットワークが構築されることで、地域活動の支援、さらに交通事故の減少により安全性が向上するなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。